

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	第2冷凍倉庫	階数	地上1F
建設地	兵庫県小野市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域 防火地域指定なし	平均居住人員	1人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2020年9月28日
敷地面積	71,209 m ²	作成者	03888-21松浦慎治
建築面積	1,068 m ²	確認日	2020年9月28日
延床面積	2,955 m ²	確認者	03888-21松浦慎治

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 82%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 0.0
Q2 サービス性能: 3.8
Q3 室外環境(敷地内): 3.4
LR1 エネルギー: 3.3
LR2 資源・マテリアル: 2.8
LR3 敷地外環境: 2.9

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 本建物用途は冷凍倉庫である。将来の機器の更新に備え容易にメンテを出来るように配慮。また、災害時冷凍機の機能低下を最小限にするため複数台設置とする。		その他 今回の建物用途 冷凍倉庫 居室無し。
Q1 室内環境 冷凍倉庫であり、居室がないため評価対象外とします。	Q2 サービス性能 室内仕上げは鋼板製パネルを使用。仕上は平滑で焼付塗装品を採用、清掃が容易で耐久性を高め維持管理に努める。建物上部にメンテフロアを設置して維持管理が容易な建物とする。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には森林を残し、自生種を配置、広い敷地に余裕のある配棟(建蔽率25%)とする。自主緑化にも務め緑化率32.4%とし地表面温度の上昇の抑制を行う。
LR1 エネルギー 熱源は省エネ機を採用	LR2 資源・マテリアル 冷凍倉庫のため該当なし	LR3 敷地外環境 法令遵守 周囲へ騒音・振動の影響のない配棟とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される